

家庭学習の手引き

(夏休み号)

計画的に学習する習慣を身につけよう

5・6年生では・・・

生活リズムの乱れは学習習慣にも影響を及ぼします。普段の生活習慣を見直し、計画的に学習を進めることが重要です。特にテレビやゲームの時間、ケータイなどの使い方については、ご家庭で約束を決めるようにお願いします。

また、学習に対する意欲や興味、関心を高めるために、先生や家族の言葉かけが大切になります。目標を決めて、努力ができるように、あたたかく見守りながら励ましましょう。

学習時間のめやす

1日

60~70分



【学習の特徴】

- ・学習内容が多くなり、論理的な考えや抽象的な思考を必要とする学習が増えます。
- ・筋道立てて考える力や広い視野で物事を見る力が必要になります。
- ・5年生から家庭科の学習が始まり、衣食住の基礎・基本を学びます。
- ・自ら学ぶことのおもしろさや楽しさを経験することで、ものの見方や考え方を身につけることができます。



【家庭での援助】

- ・「やればできる」という気持ちを持たせ、子どもの自尊感情を育てるように、ほめたり励ましたりしてあげてください。
- ・学習する場所を決め、整理整頓を行い、計画を立てて学習が進められるように声かけをしてあげてください。
- ・テレビを見ながらやお菓子を食べながらなど「ながら学習」をしないで、集中して学習させてください。
- ・考える力がぐんと伸び、時には大人への反抗も見られるようになります。まずは、子どもの話をよく聞き、受け止めるようにしてあげてください。
- ・家族の一員として、お手伝いや役割を決め、家庭科などで学習した内容を生活の中で実践したり、生かしたりすることができる機会を作ってあげてください。



● 小学校の学習は、社会人として将来自立するための基礎となるものです。特に、「読むこと」「書くこと」「計算すること」は、生活する上で欠かすことのできないものです。

● 学校では、「一人ひとりの子どもへのきめ細かい指導」を行い、スラスラタイムや朝読書などを通して基礎学力を高める取組を行っていますが、ご家庭と協力することにより、子どもたちの力は、さらに高まり定着していきます。

● この手引きをよく読んでいただき、家庭学習の習慣化に向けて、ご協力をお願いいたします。



【家庭学習の内容】

☆家庭学習とは、宿題はもちろん、読書や自ら進んで行う学習も含まれます。

国語 ・音読・漢字練習・意味調べ・視写・日記など

算数 ・計算練習・百マス計算・文章問題

・テストで間違えた問題をもう一度ノートに写して解いてみる。

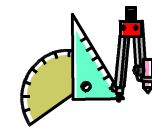
社会や理科など・学習したことに関係のある事から本や事典で調べてまとめる。

☆市販のドリルや問題集なども活用してみましょう。

【各学年で身につけたい力】

やる気が出てくる5年生

- ① 5年生で習う漢字193字が読めて、書けるようになる。
- ② 習った漢字を使った熟語が書ける。
- ③ 相手を意識して話したり、分かりやすく書いたりすることができる。
- ④ 小数・分数のかけ算、わり算ができる。
- ⑤ 割合・百分率を使った問題が解ける。
- ⑥ 図形の面積や体積を求めることができる。
- ⑦ 世界における我が国の国土の位置、国土の構成などが分かる。



実り多き6年生 つなげよう中学校へ

- ① 小学校で習得すべき漢字1006字が読めて、書けるようになる。(6年191字)
- ② 小数・分数のたし算、ひき算、かけ算、わり算の計算ができる。
- ③ 筋道立てて話したり、根拠を明らかにして書いたりすることができる。
- ④ 様々な文章の内容をとらえながら、読むことができる。
- ⑤ 歴史上の出来事や人物について、だいたい分かる。
- ⑥ 理科の実験器具の正しい使い方を知っている。



